

会 議 録

会議の名称	第3回白岡市総合振興計画審議会
開催日	令和8年3月19日（木）
開催時間	午後2時から午後3時45分まで
開催場所	白岡市役所 仮設本庁舎 多目的室1・2
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	江原勝義、嶋田和也、寺井堅一、中村将大、三上尚子、進藤貴一、真鍋陸太郎、 廣瀬秀男、弓木裕一、森田茂、松井直紀、澤田貴樹、岸幹夫 13人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	仁木俊夫、進藤悟 2人
説明員の職・氏名	副市長 椎木 隆夫 企画政策課長 小林知史、課長補佐 金子寛之、主査 吉野大輔、 主任 杉寄晃洋
事務局職員の職・ 氏名	副市長 椎木 隆夫 企画政策課長 小林知史、課長補佐 金子寛之、主査 吉野大輔、 主任 杉寄晃洋
その他会議出席者 の職・氏名	株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング 横山徹、佐久間萌
傍聴者数	4人
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議題 （1）第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る市民意識調査等の結果について （2）市長と白岡の未来を語ろう「ふれあいミーティング」の実施報告について （3）基本構想（案）について 4 その他 5 閉会

配布資料	<p>第3回白岡市総合振興計画審議会 次第</p> <p>資料1 市民意識調査結果報告書</p> <p>資料2 小中学生アンケート結果報告書</p> <p>資料3 子育て世帯意識調査結果報告書</p> <p>資料4 事業者意識調査結果報告書</p> <p>資料5 市民団体等意識調査結果報告書</p> <p>資料6 市長と白岡の未来を語ろう「ふれあいミーティング」実施報告書</p> <p>資料7 序論・基本構想（案）</p> <p>資料8 第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る人口推計について</p>
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
<p>事務局</p> <p>椎木副市長</p> <p>真鍋会長</p> <p>真鍋会長</p> <p>事務局</p>	<p>1 開会</p> <p>事務局の司会進行により開会する。</p> <p>2 挨拶</p> <p>椎木副市長が挨拶する。</p> <p>真鍋会長が挨拶する。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る市民意識調査等の結果について</p> <p>(2) 市長と白岡の未来を語ろう「ふれあいミーティング」の実施報告について</p> <p>議題(1)「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る市民意識調査等の結果について」と(2)「市長と白岡の未来を語ろう『ふれあいミーティング』の実施報告について」を一括して議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p> <p>議題(1)「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る市民意識調査等の結果について」と(2)「市長と白岡の未来を語ろう『ふれあいミーティング』の実施報告について」を説明する。</p>

真鍋会長	<p>ただいまの説明について、ご質問等がございましたらお願いいたします。もう少し説明がほしい、あるいは実施方法に関する質問でも結構です。</p>
A委員	<p>市民意識調査結果報告書について、16歳以上が対象となっておりますが、回答者は高齢者の割合が多くなっています。まったく無作為に抽出したのでしょうか。</p> <p>また、有効回収率が50%を切っています。高齢者は質問数が多いのを嫌がるでしょう。どういった人がアンケートに回答していないのかデータがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>無作為抽出の段階で、市全体の年齢や地域の割合を按分した上で無作為抽出しました。回答者として高齢者が多かったのは、市内の人口割合として高齢者の人口が多いためです。</p> <p>また、回収率45.1%についてですが、市民意識調査は1,500人に配布して、有効回答は400人以上と見込んで設定しました。結果としては全体の半分以下という印象もありますが、市としては必要数を確保できたと考えております。</p>
A委員	<p>回答しなかった方の分布について、高齢者は複雑なアンケートには答えなかったのではないかと感じます。</p>
事務局	<p>回答の負担を考慮し、75歳以下の方を無作為抽出して配布をしました。特に高齢者の回答率が低かったということはありません。</p>
A委員	<p>内容を読みましたが、我々の感覚とは異なると感じました。75歳以上は公共交通にかなり不便を感じていますが、我々が感じているよりも少なかったのうかがいました。</p>

真鍋会長	<p>私から事前に事務局にうかがったことで、事業者意識調査につきましては、事業所への配布数はもっと多かったようですが、回答いただいた事業所は少なかったとのことでした。</p> <p>また、市民団体等意識調査につきましては、活動団体の登録団体に回答いただいたそうです。アンケートで回答数の集計はしていますが、自由回答の方が有効な内容だと思いますので、重視して見ていただきたいと思います。</p> <p>質疑がないようですので、以上で質疑を終了いたします。</p> <p>それでは、続きまして、議題（３）「基本構想（案）について」に移ります。</p>
事務局	<p>議題（３）「基本構想（案）について」説明する。</p>
真鍋会長	<p>審議に当たり、今後の流れについて、あらかじめ説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の審議会のご意見を受けまして、今後、市議会に説明をしてご意見をいただく予定です。いただいたご意見を反映したものを、５月にパブリックコメントを実施し、市民の方にご意見をいただきたいと思いますと考えています。その後、７月の審議会でもパブリックコメントの結果等を踏まえ、答申をいただきたいと思いますと考えています。</p> <p>答申案につきましては、今回いただいたご意見を踏まえ作成し、パブリックコメントの結果と合わせて、事前に委員の皆様へ郵送等でお知らせします。答申案について事前にご意見をいただき、７月の審議会でも答申をまとめたいと考えています。</p>
真鍋会長	<p>パブリックコメントに出すものに今回のいただいた意見をすぐに反映することは難しいのですが、パブリックコメントと同じように今回いただいた意見をもとに、答申に反映するということですね。</p> <p>それでは、ご質問やご意見がございましたらお願いいたします</p>

B委員	<p>一市民として、また孫を持つものとして、これからの未来の子どもたちや地域を守っているのは、お母さん方や女性たちだと思っています。子どもたちも白岡市の良さを知って、学んで、血肉にしていくものだと思っています。子育て世帯アンケートの中で、耕作放棄地で子どもたちと収穫をしたり、食べたり、遊ぶ場をつくってほしいという意見がありました。このようなことができる基盤をつくり、それが白岡市の良さだと未来に向けて発信していきたいと思います。生活クラブなどで、環境問題や自然農法とか、添加物等、お母さんたちは一生懸命に学んで、子どもの身体をどのようにつくっていくのか一生懸命に考えていますので、そのパワーを未来につなげていける白岡市になってほしいと思います。</p>
事務局	<p>「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち」という将来像にもありますように、自然は将来の子どもたちにも引き継いでいきたいと考えています。また、子育て中のお母さんたちのご意見というのも、今回、幼稚園と保育園の保護者の方にいただきましたが、今後、教育委員会において、小中学校の保護者にもアンケートを実施する予定ですので、そのアンケート結果なども踏まえて、検討していきたいと思います。</p>
真鍋会長	<p>今のご意見と関連して、土地利用基本構想に、休耕田や住宅地の空き地の有効活用などの最近の土地利用計画の動向を考慮してもらえると良いと思います。</p> <p>現行のたたき台には、そのような踏み込んだ詳細な内容は記載されていませんが、今後どうするのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本構想には大きな枠組みを記載していますが、具体的な内容は、今後、作成する基本計画や重点取組項目に盛り込んでいきたいと考えています。</p>

A委員	<p>17ページに広域的な交通利便性という記載があり、JRが2駅あり、都心にも出やすい、高速ICもあることは良いのですが、車を持っている人や駅周辺に住む人に限定されます。アンケートの中でも市内の公共交通が非常に貧弱であるという意見が多く、のりあい交通は市民から非常に評判が悪いです。第2章(5)快適でだれもが住みやすいまちの「公共交通の充実」とは何のことか、もっと明確にしないと伝わりません。市内の問題になっている部分を改良するためにこの言葉を使っているのか、もっと議論を進めてほしいと思っています。</p>
事務局	<p>公共交通の課題につきましては、ふれあいミーティングでも多くのご意見をいただき、市民意識調査でも重要度が高く、満足度が低いという結果でした。のりあい交通についての利用者アンケート結果では、満足度は低くない傾向にあり、使っていただかないと分からない良さもあると感じています。路線バスや循環バスが求められるところですが、先般、民間事業者が新規にバス路線を運航しましたが、利用者が少なく運行が終了になってしまいました。移動の確保による活動の有無は生活の質に影響する大事なことなので、どのような形が良いのか、引き続き検討していきたいと思っております。</p>
A委員	<p>のりあい交通利用者の感触は良いそうですが、子どものアンケートでは、車がなければ何もできないという意見がありました。高齢者だけではなく、子どもたちも含めて考えていかないと、せっかくの立派な図書館も利用できなくなります。一步進めてほしいのが私の願いです。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえまして、検討していきたいと思っております。</p>
真鍋会長	<p>白岡市は、公共交通は弱いと感じていますが、都市計画マスタープラン検討の際には、公共交通は別所管と言われました。これは全国でも稀で、白岡市はそこが分かれています。土地利用構</p>

事務局	<p>想に地域内をつなぐことを改善できるものを盛り込めないので、どうにかできないでしょうか。</p> <p>公共交通につきましては、国においても、国土交通省が所管しており、土地利用と合わせて検討されることが多いので、今後組織の在り方、もしくはそれぞれの部署が連携してスムーズにできるような体制を検討していきたいと思います。</p>
C委員	<p>先ほど、子育てしているお母さんたちが、空き地などで子どもたちと農業体験をしたいという意見がありましたが、白岡市の農政課や農業委員会にお越しただければ、農業委員が市全域にいますので、空き地などを紹介してもらえませんか。是非、ご相談ください。</p>
真鍋会長	<p>市内の資源を市民にどう的確に伝えていくかといった意見がありましたので、計画にも含めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>市民に必要な情報が届くといった点は検討していきたいと考えています。基本計画の中で、積極的な魅力の発信や参画と協働によるまちづくりの推進という項目があるので、市民参画や市の情報発信のあり方について、今後更に深めていきたいと思います。</p>
真鍋会長	<p>前回の審議会で、学校の話題の時に必要な情報が保護者に届いていないような話があったので、施策が市民に伝わるような検討をしていただければと思います。</p>
D委員	<p>土地利用基本構想図について、市役所から東側にはゾーン設定がないように見受けられます。太田新井地区にお住まいの方も多いため、拠点ゾーンや産業系土地利用検討ゾーンを設けたりするのはどうでしょうか。</p>

事務局	<p>太田新井地区については、農業の基盤整備を行っており、貴重な農地を生かしていく考えです。一方で、東武動物公園周辺では、交流拠点ゾーンを位置付け、交流人口を増やし活性化していきたいと考えています。</p> <p>また、県道沿いの交差点付近は沿道サービスゾーンを位置付け、地域住民の利便性の向上につながるようなスーパーなどの沿道サービスを誘導する形にしています。市街化調整区域は農業をベースにしたところで、全てを開発する訳ではなく、農地として保全するところは保全するという考えです。一方で交通利便性が高いところや耕作放棄地が多いところなどは、市として産業系の土地利用などを誘導するという考えで整理しています。</p>
D委員	<p>農地を保全したいのならば、農地保全ゾーンを設けることはしないのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらは農業共生ゾーンという位置づけをしております。</p>
D委員	<p>その中でも特別に農業を推進する、農地を大事にするという位置づけで分けはできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>総合振興計画は、農業的な視点と都市的な視点を両方記載する土地利用の方針を示すもので、農業については、個別に農業振興地域整備計画を策定しており、そちらで、農業の推進についての詳しい記載をしております。本計画では、市の土地利用の大きな方針を構想図として記載していますので、農業共生ゾーンという位置付けで、農業を守っていくということを前提にしていますので、農地を更に分けする位置づけはしていません。</p>
真鍋会長	<p>大きな計画の構想図なので、22ページの農業共生ゾーンの中のイメージが、そこに暮らす市民の生活をもう少しイメージできるような記述になると良いのかなと思います。</p>

E委員	<p>1点目に、人口が減少する中で税収を確保するには、できるだけ人口減少を止める、そのためには子育て中の方に定着して住み続けてもらうことです。子育て世帯や小中学生の意見が大事で、若いうちは1度市外に出るのは自然だと思いますが、子育て世帯の意見のうち、「小児科を増やしてほしい」や「ショッピングモールがほしい」などの意見が多いです。新白岡駅前に飲食店がないなど、子育て世帯が出ていかないような方策をかなり真剣に優先的に考える必要があるのではないのでしょうか。子育て世帯を全力で支えることが、現状の記載からは見えないのが残念です。ショッピングモールが難しければ、道の駅や直売所など、もう少し具体的にイメージできるといいと思います。</p> <p>2点目に、具体的な計画を提示されてからのパブリックコメントなのではないでしょうか。序論と基本構想のパブリックコメントをした後に基本計画なのか、スケジュール感を知りたいです。</p>
事務局	<p>1点目の人口減少の中で、子育て世帯にフォーカスした取組を優先的に行った方がいいというご意見については、ごもっともだと思います。子育て世帯調査の中の自由意見に、子どもが遊ぶ場所に加えて、駅周辺の飲食店や道路の安全などが求められています。土地利用基本構想では、駅周辺を都市機能拠点ゾーンとして位置づけているように、白岡駅周辺では、まずは都市基盤整備をすることで、安全に歩ける道路や店舗、住宅を建てられるような環境を整えていきたいと考えています。</p> <p>また、新白岡駅周辺については、土地区画整理事業や民間開発により都市基盤整備は整っていますが、一步進めて、これまでのベッドタウンから身近な地域の価値を高め、駅周辺ににぎわいを創出するためのエリアマネジメントなどの取組を進めています。子育て世帯へのアプローチとして、都市基盤整備と駅周辺のにぎわい創出をしていくことを優先的に行っていきたいと考えています。</p>

	<p>駅から離れた場所にお住まいの方には、沿道サービスゾーンや交流拠点ゾーンを位置付け、利便性を確保した上で、自然と触れ合いながら、子育てをできる環境を整えていきたいと考えています。</p> <p>2点目のスケジュールについてですが、5月に基本構想のパブリックコメント、7月に審議会で答申をいただきます。その後、基本計画を審議いただき、12月にパブリックコメントを実施して、審議会で答申をいただいた上で、最終的に計画を策定していきたいと考えています。</p>
E委員	<p>22ページ③のところで、「新白岡駅周辺では、民間活力を生かして低未利用地などの利活用を促進し、地域住民の生活利便性の向上に資する施設の誘導を図ります。」について、市として力が入っているようには思えず住民任せな感じがします。</p> <p>スケジュールについて、具体的な計画を議論する機会はまだあるという理解でよろしいでしょうか。</p>
真鍋会長	<p>まずは、基本構想に対してパブリックコメントで意見を集め、議会に諮ります。その後に基本計画は、この審議会では9月～10月にご審議いただきます。</p> <p>また、新白岡駅周辺のマルシェについては、市として施策を打った上で、民間が出店しているのであって、市が何もしていない訳ではないということです。</p>
事務局	<p>市としては、公園などの公共空間を利用することについての支援などを行っているところです。</p>
真鍋会長	<p>基本構想の書き方ですと、子育て世代に注力した書き方になっていないのではないかという点はその通りなので、基本構想が17ページの政策目標の柱立てを受けるように検討してほしいです。</p> <p>人口動態について5ページにあるように、社会減でないのは全国的に見ても白岡市は非常に優秀です。一方で、10代後半から20</p>

	<p>代前半が転出しているので、進学できる大学や就職先がないと白岡市を出ていくのは仕方のないことですが、1度白岡市を出ても戻ってきてもらえるような戦略が必要であり、そのような書き方が必要です。</p>
F委員	<p>22ページの新白岡駅周辺について、埼玉県のスーパ・シティプロジェクトを受けた展開だと思いますが、そのことに特に触れていないのはなぜでしょうか。</p>
事務局	<p>埼玉版スーパ・シティプロジェクトにつきましては、新白岡駅周辺で取組を進めており、「民間活力を生かして低未利用地などの利活用を促進し」という部分につきましては、この取組を受けて追記したものです。スーパ・シティプロジェクトという文言や取組についての記載については、今後基本計画の中で盛り込むか検討したいと思います。</p>
G委員	<p>基本目標の教育の部分で、学校という文言が出て来ないのはなぜでしょうか。教育の充実や子育てのことはありますが、義務教育の小中学校が出て来ていません。子育て世帯にとっては学校に興味があると思うし、義務教育の9年間は非常に大切なので、学校が基本構想で出てこないのはどうかと思います。</p>
事務局	<p>18ページの「(3)次代を担う人と豊かな文化を育むまち(子育て・教育・文化)」の中で「教育環境の整備を進めます。」ということが記載されています。市の教育委員会でも市立学校の適正規模、適正配置について検討を進めているところであり、基本計画の中で反映させたいと考えていますので、基本目標で学校という文言に触れるかどうかについても、改めて検討したいと思います。</p>
真鍋会長	<p>市内に私立の小中学校はあるのでしょうか。</p>

事務局	市内には、私立の小中学校はありません。
真鍋会長	私立がないのであれば、市立の小中学校についての記載について検討いただきたいと思います。
H委員	土地利用基本構想図について、今後、白岡駅東口線が開通し、白岡駅西口線も令和13年度に開通予定であり、白岡駅周辺は都市機能拠点ゾーンの赤色になっていますが、特に西口の商店は以前よりだいぶ減りました。「魅力ある商業・業務施設の充実を図る」という文言だけだと、市の方向性が見えてこないのではどのような方向性があるのかを落とし込めないものでしょうか。
事務局	白岡駅東口線は、来年度に白岡駅東口まで開通する予定で、白岡駅西口線は令和13年度を目標に白岡駅西口から県道さいたま栗橋線まで整備を進めているところです。個別計画の都市計画マスタープランでは、道路の整備に加え、土地利用の見直しについても記載しております。都市計画やまちづくりにつきましては、市だけではなく、地域の皆さんや商店を営んでいる方のご意見も踏まえて検討していきたいと考えています。
H委員	用途地域の指定について、駅前ロータリーを出てしまうと住宅地域という指定ですので、商業地域にしていだかないと発展が難しいと思うので、よろしくお願ひしたいと思います。
真鍋会長	都市計画道路の整備は書いてあるのに、用途地域の指定について書いていないとバランスが悪い気がします。
事務局	都市計画道路につきましては、幹線道路という意味合いで表記していますが、「商業・業務施設などの都市機能の集積」については、都市計画だけで都市機能の集積を図ることは難しくなっているの

真鍋会長	<p>で、都市計画の方に寄せた記載とするのか、現在のように幅広く抽象的な記載とするのか検討していきたいと思います。</p> <p>新白岡駅周辺については、エリアマネジメントの取組を進めているということですが、白岡駅周辺については、将来的にエリアマネジメントはやらないのでしょうか。</p>
事務局	<p>エリアマネジメントの主体は、実際にエリアマネジメントの活動をしていただく団体等になりますので、白岡駅周辺においてもそのような動きがありましたら、市としても支援していきたいと考えています。</p>
真鍋会長	<p>新白岡駅周辺では「民間活力を生かして」という記述はありますが、都市機能拠点ゾーン全体としても、「民間活力を生かして」という記述をしても良いと思うので、検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
I 委員	<p>他自治体のアンケートですと、働く場所を求める回答が多く、企業誘致や雇用の活性化を図る意見が多いのですが、白岡市はそうでもありません。ただ、地域産業を活性化し、地域で働く場所を充実させることは、子育て世帯の定住のためにも重要ではないかと思います。また近年、仕事と家庭を両立できるような施策も増えていますので、そのような環境整備についても目標なり計画に入れていただくと良いと思います。また、高校生の就職支援もしていますが、東京都内や有名企業ではなく地元で就職したいという高校生もいるので、そのための施策も考えていただきたいです。</p>
真鍋会長	<p>政策目標の産業、雇用、子育てにうまく書き込めると良いと思います。また、地元就職については、コロナ以降、大学生についても</p>

I 委員	<p>地方の子どもたちはあまり遠くへ行きたがらない傾向が見られるので、市内に残る若者に対する施策や市内に住んで働ける場所の確保についてはどこかに記載してほしいと思います。</p> <p>就職状況の統計などは春日部公共職業安定所の方でとっていますか。</p> <p>公表はしていませんが、市町村別有効求人倍率をとっており、白岡市は1倍を切っている状況です。仕事を探している方1人に対して、募集が1件ないということなので、仕事が少ないということです。</p>
J 委員	<p>小中学生アンケート結果の4ページについて、まだまだ純粋な小学生が、白岡市に「住みたい」が15%、「住みたくない」が30%というのは非常にまずい状況です。普通、小学生であれば、逆の結果になると思うのですが、小学生でこの数字なのであれば、大きくなったらどうなるのでしょうか。他市でもこのような結果ですか。</p>
真鍋会長	<p>3ページの「とても好き」、「まあまあ好き」は4分の3以上に、大人になって住みたいかの問いに「住みたくない」が倍以上になってしまうのはどう解釈すればいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>他市の事例として、久喜市の定住意向についての中学生アンケートの結果では、「住みたい」が12.4%、「一時的に進学や就職で出ざるを得ないものの将来は戻って来ても良い」が24.2%となっています。地域性として、若い方が将来を考えた時に一度東京などに出てみたいと思うことや、就職先がない白岡市を出ざるを得ない方もいると思うので、久喜市のような選択肢があっても良かったのかなと思います。</p>

J委員	<p>一度白岡市を離れても、将来的に戻ってきてくれたら良いので、一時的に進学や就職で出ざるを得ないものの将来は戻って来ても良いという選択肢を今後使用するのが良いと思います。</p>
A委員	<p>市民意識調査結果では、9ページの10代の結果をみると「ずっと住みたい」が13.6%、「転居したい気持ちがある」が31.8%となっていますが、「当分は住みたい」が45.5%いる訳です。私はこの結果を見た時に違和感はありませんでした。両極端な選択肢だけだと極端な数字になるので、データの表示の仕方もあると思います。</p>
真鍋会長	<p>今回は、久喜市のような選択肢がなかったので、小学生には、進学や就職は東京都内かなというようなイメージで捉えられてしまったのかもしれないね。</p> <p>市民意識調査でも、年代が若いほど、市外へ転居したい気持ちがあるというのが分かりますので、そこに対して仕方ないと捉えるのか、できるだけ住み続けてもらえるようにするのか検討していただければと思います。</p>
K委員	<p>土地利用基本構想図について、周辺に都市機能を持った市町がありますので、広域的な視点を入れても良いのではないかと思います。</p>
真鍋会長	<p>このような土地利用基本構想図などでは、自治体の周りは何もないような書き方になってしまいますが、住民は、周辺市町村の商業施設なども使用するので、どのように踏まえるか検討いただいても良いかもしれないですね。他にご意見はございませんか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>

真鍋会長	<p>以上をもちまして、本日の議題は、すべて終了いたしました。委員の皆様方のご協力に感謝申し上げます。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回の開催日程は、令和8年7月14日（火）、午後2時から開催いたします。</p> <p>議題はパブリックコメントの結果報告と、基本構想の答申を予定しています。</p> <p>令和8年度の審議会は全4回を予定しています。</p> <p>9月16日（水）、10月7日（水）いずれも午後2時からを予定しています。2月は調整中につき、決まり次第お知らせいたします。</p> <p>5 閉会</p> <p>以上で、閉会いたします。</p>